

令和8年度 東又小学校 学校経営グランドデザイン

経営理念

少子高齢化、グローバル化など、多様で変化の激しい社会を子どもたちが「生き抜いていく力」を育成するため、主体的自治的な力を育成する。そのために、チーム学校の構築を目指し、確かな学力、豊かな人間性、心身ともに健康なバランスのとれた児童の育成を図る。

学校教育目標

思いや考えを伝え合い、
主体的に学び合う児童の育成

教育課題

- ・思考力・判断力・表現力が不十分
- ・思考の練り合いが表面的な同調にとどまる
- ・自分の考えを分かりやすく文章にまとめたり、相手にうまく伝えたりすることに苦手意識がある

目指す学校像

- ★明るく活力のある学校
- ★助け合い励ましあう学校
- ★地域とともに歩む学校

目指す教師像

- ★一人一人を大切にする教師
- ★自己啓発に努める教師
- ★地域を大切にする教師

目指す子ども像

- ★自分の思いが言える子
- ★相手の気持ちがわかる子
- ★いろいろなことに挑戦する子

研究主題

自分を拓き、他者と響き合う子どもの育成
～教育 DX を基盤とした、主体的な『対話の質』の向上を目指して～

知

基礎学力の定着と学力の向上

- ① 校内研修の充実
 - ・「読解力」「表現力」をつけるための研究
 - ・年間1回以上の授業研
 - ・支援訪問、講師招聘による授業研究
 - ・先進校視察
 - ・学級活動、異学年交流の研究
- ② 授業改善
 - ・問題解決的な授業スタンダードの確立
 - ・単元構想図をもとにゴールの明確化と振り返り活動の充実
 - ・図書館教育やNIEを取り入れた授業
 - ・教科等横断的なカリキュラム編成
 - ・「思考の可視化」や「試行錯誤」の場及び個別最適な学びとしてタブレット端末の活用
- ③ 基礎学力の定着と学力の向上
 - ・帯タイムや加力の活用で基礎基本の徹底
 - ・個人カルテの実施
 - ・全国学力・学習状況調査や高知県学力定着状況調査等で全国平均以上
 - ・授業と家庭学習をつなぐ工夫
 - ・家庭学習の量と質の充実を図る（タブレット端末の活用）

徳

心の教育の充実

- ① 道徳教育・人権教育・特別支援教育
 - ・考え、行動する道徳授業
 - ・「高知の道徳」年間6回家庭との連携、啓発
 - ・「全校道徳」の月1回実施
 - ・人権道徳参観日の実施
 - ・一人一人に寄り添った児童理解
 - ・友達の良さを理解し、互いに尊重しあえる仲間づくり
 - ・自尊感情の育成
 - ・ユニバーサルデザインの環境整備
 - ・Q-U 調査アンケートの活用、研修
 - ・SCと連携
 - ・校内支援会の充実
- ② 読書活動
 - ・図書館教育の充実と連携した取組
 - ・年間読書達成率を昨年度より向上
 - ・家庭での読書、毎日10分以上（取り組み重点期間20分）

体

健康・安全教育の充実

- ① 防災教育、安全教育
 - ・防災教育の充実、防災学習週間の実施
 - ・定期的な安全点検
 - ・交通ルールの徹底
- ② 体力づくりの取組
 - ・体力・運動能力向上取組推進校として研究実践
 - ・「朝スポ」でのサーキットトレーニングの実施
 - ・「パワフル・ロング昼休み」（月）による外遊びの推進
 - ・「外遊びスタンプカード」の実施
 - ・体育での「ちょこトレ」の取組
- ③ 基礎的生活習慣づくり
 - ・生活調べを家庭と共有し改善
 - ・電子画面視聴時間削減の啓発
 - ・近視予防「グーチョキパー」姿勢の徹底
- ④ 食育
 - ・栄養教諭との連携
 - ・給食指導の一層の充実
 - ・歯磨き指導の充実

地 域

- ① 保小中連携教育 スマート加力
- ② コミュニティ・スクール
(学校運営協議会・東又の子どもを守る会)
- ③ 地域資源・人材バンクの活用
学校林、ビオトープ、地域教材の掘り起こし

見守り活動
クラブ活動
放課後学習
環境整備
行事の手伝い